

一般社団法人大学コンソーシアム熊本第42回理事会 議事録

1 開催日時 令和6年1月29日（月） 16時30分～17時30分

2 開催場所 ホテルメルパルク KUMAMOTO

出席者	代表理事（会長）	細江 守紀	熊本学園大学長
	代表理事（副会長）	肥後 成美	九州看護福祉大学長
	代表理事（副会長）	堤 裕昭	熊本県立大学長
	理事	小野 長門	崇城大学長
	理事	金 栄緑	熊本学園大学 副学長
	監事	出田 敬三	平成音楽大学長

欠席者	理事	小川 久雄	熊本大学長
	監事	高松 洋	熊本高等専門学校長

4 開 会

（1）開会

事務局（松村事務局長）から、本日の理事会に現在の理事6名中5名（監事1名出席）の出席により、定款第32条に定める定足数（理事現在数の過半数）を満たし、理事会が成立したことを宣言した。

（2）会長（議長）挨拶

会長（議長：細江学長）からの挨拶のあと、本日の理事会は、①大学コンソーシアム熊本 第2期中期計画について、②令和6年度の運営体制について、③大学コンソーシアム熊本 令和5年度事業報告会の開催について、が主な議題であることが宣言された。

（3）議事録の確認及び議事録署名人の指定

資料1の一般社団法人大学コンソーシアム熊本第38回・第39回・第40回・第41回の確認及び報告のあと、定款第33条及び理事会運営規則第12条の定めにより、本日の議事録署名人は細江代表理事（会長）及び出田監事が行うことの説明があった。

5 理事会議事

第1号議案 大学コンソーシアム熊本 第2期中期計画について

事務局長から、資料2に基づき第2期中期計画（案）説明があった。概要は以下のとおり。

- ・最初に、第1期中期計画の総括、続いて、高等教育機関の現状として、我が国と熊本県における現状と課題、その後、第1期の総括及び高等教育機関の現状と課題の整理を受け、第2期中期計画では3つのビジョン・8つの目標を提示している。
- ・ビジョンは「1. 高等教育機関の教育・研究の充実」、「2. 高等教育機関と自治体、産業団体との連携」、「3. 地域社会の教育・文化の向上と発展、教育環境の向上」の3つとし、目標に関しては、①県内大学進学率、②県内就職率、③産官学連携企画本数、④加盟機関における共同・受託研究数、⑤単位互換制度利用者数、⑥社会人科目等履修生数、⑦公開講座等参加者数、⑧県内留学生数とした。

- ・第2期中期計画の実施計画については、実施計画シートをビジョン毎に分けて具体的な取り組みについて作成した。
- ・ビジョン1は、学生教育部会が担当する事業で、すべての取組みが第1期からの継続事業である。
- ・ビジョン2は、取組①は学生教育部会担当の「インターンシップ連携事業」である。取組②以下については、産学官連携推進のための組織を来年度設置し、そこで活動方針を定め、実質的に交流推進事業を翌令和7年度から進める案である。1年度開始が遅れるように見えるが、まず推進母体を整備し実施に移すこととした。
- ・ビジョン3は、地域創造部会（取組①～④）と国際交流部会（取組⑤⑥）が担当し、基本的には第1期の活動を継続するが、国際交流部会が担当する取組⑤と⑥はいろいろな事業の実施が可能となるよう、取組名称としては「留学生誘致のための取組み」と、「グローバル人材育成（外国人学生、日本人学生）のための取組み」とした。
- ・目標値についてであるが、「①県内大学進学率」「②県内就職率」については、第1期の実績を踏まえ、多少上積みしてそれぞれ50%、55%、「⑥社会人科目等履修生数」についてもこれまでの各大学の実績に若干上乘せした数字、「⑦公開講座等参加者数」についてはキャンパスパレアの実績に講演会の参加見込み数を加えた数字、「⑧県内留学生数」については今期同様の1,000人とした。
- ・「③産学官連携企画本数」、「④加盟機関における共同・受託研究数」についてはまず推進母体を設置し、そこで検討することにしたので、現時点では未記載としている。「⑤単位互換制度利用者数」に関しては現在熊本大学と九州ルーテル学院大学の2大学で試行中であり、現時点で将来的な単位互換のあり方についての方向性がコンソーシアムとして確定していない。また、学生教育部会において「授業科目の共同開設」について提案のあったところであり、次の部会で今後の取り扱いについて協議する予定であるので、「授業科目の共同開設」の方が進む可能性もある。2月の学生教育部会の議論ののち、この目標については議論の予定であり、現時点ではペンディングとさせていただきたい。

【役員からの意見・質問等】

（質問／理事）

第2期中期計画の数値目標は従来の成果を踏まえての設定かと思われるが、今年のJASM稼働を付加的な要素として考慮に入れた設定か。期待値を込めた数値設定になっているのか。

（回答／事務局長）

主にビジョン2、ビジョン3にも関わる数値かと思われるが、ご指摘の点は今後の検討事項となるかと思われる。理事会から期待値を込めてJASM稼働を考慮に入れて設定するようにとのご意見があれば、部会へ戻して追加・修正を検討することができる。コンソとしてどこまで関われるか不確定な部分もあるが、再検討の上、就職率の数値をまだ上げる余地があるかもしれない。今後検討を進めていく。

審議の結果、資料2の大学コンソーシアム熊本 第2期中期計画の骨子についてはおおむね承認され、3月の理事会で改めて審議することになった。

第2号議案 令和6年度の運営体制について

議長から、引き続き令和6年度も現役員を引き受けていただけるか役員に問いかけがあり、役員により了承された。

その後、事務局長から、来年度の事務局体制について、資料3-2に基づき説明があり、事務局長職は引き続き来年度も松村局長、事務局次長は崇城大学からの出向、

3人体制の主事については、熊本大学、熊本学園大学から引き続き来年度も出向を予定している。残り1名は大学からの職員派遣が難しい状況であるが、来年度以降産学官連携の業務を担う予定であり必要不可欠な人員であるのでコンソ雇用か派遣職員でお認めいただきたい。この他、留学生支援と誘致を担当するコーディネーター2名は、県と市からの補助金を原資として雇用しており、今年度同様、補助金を申請し、派遣1名と直接雇用1名の2名体制を維持する予定である。昨年度末、事務局の安定的な運営並びに事業の継続性を考慮し、事務局長についてはコンソ雇とし、主事については原則、各大学等からの出向とすることを企画・運営委員会でお認めいただいたところだが、財源（人件費）の捻出の問題が解決するまでは、当面現在の体制維持とのことで結論が先送りされている。来年度の事務局体制については、改めて3月の理事会で諮らせていただくこととしたい。

審議の結果、事務局長職は引き続き松村局長、主事の1名について、出向がない場合、コンソの直接雇用か派遣職員とすることが承認された。

第3号議案 大学コンソーシアム熊本 令和5年度事業報告会の開催について

事務局長から、資料4に基づき、本報告会は、当コンソが地域社会の教育・文化等の向上、発展に貢献し、その成果・実績を市民に認知いただき、コンソに対する支援や協力につなげるための大事なものと考えている。また、それ以上にコンソの構成員である各高等教育機関の教職員、熊本県、熊本市の自治体職員、賛助会員、協賛会員である産業界の方々にもコンソが何をやっているか認知いただくことが必要かと思われるとの説明の後、報告会の詳細な内容は未定であるが、昨年度同様、今年度の3部会の活動について、それぞれの部会長に報告していただくことを中心とし、加えて、第1期中期計画の最終年度にあたるため、5年間の総括を加えてオンラインで開催する案が示された。

【各委員からの意見・質問等】

(意見／理事)

- 趣旨からすればオンラインではなく、対面の方がよいのではないかな。
- 会場を設けて対面開催で、都合のつかない人はオンラインで参加（同時配信）、ハイブリッドの方がよいのではないかな。
- オンラインだけではなく、広く呼び掛けて大勢に対面で参加いただく方がよいのではないかな。
- 部会長の報告だけではなく、学生の代表に加わってもらい、学生の活動の紹介、学生による発表もできればよいのではないかな。
- 事業に対して学生の評価、感想も聞き取りができれば良いのではないかな。
- 学生の生の声を聞けるよい機会ではないかな。
- 対面で行うならば集客はどうするか。
- 時期はいつがよいかな。事業報告は5月を過ぎない方がよいのではないかな。
- 今年度未実施の講演会と同時開催でもよいのではないかな。

○講演会と同時開催であれば、学生が加わるか、加わらないかで講演会の内容が変わってくるのではないかと。工夫が必要かと思われる。

(質問／理事)

- 対面の場合、会場はどうするか。
- 報告会は年度内で行わなければならないか。
- 所要時間はどれくらいか。

(回答／事務局長)

- 会場は、どこかの大学の施設をお借りするということが考えられる。
- これまでは年度内に行っているが、理事会で決定していただければ年度が改まってからでも開催できる。
- 報告会単独ならば1時間程度、講演会とセットならば所要時間は2時間程度ではないか。
- 5月には企画・運営委員会、社員総会、理事会の開催があるため、日程の設定が困難である可能性がある。

審議の結果、報告会の開催については承認された。開催時期については年度明け、ハイブリッド開催とし、プログラムを決めた上で3月の理事会で具体的に内容等を決めることにする。日程設定が困難であれば資料4の(案)のとおりの内容で4月にでも行うということを検討する。

第4号議案 その他

特になし

6 理事会報告

第1号報告 令和5年度各部会の事業実施状況について

事務局長から、資料5に基づき、今年度の事業についての活動状況報告があった。

第2号報告 令和5年度予算の執行状況について

事務局長から、資料6(支出予算ベース)に基づき、今年度予算の令和5年12月28日現在での執行状況について以下のとおり報告があった。

- 1)「管理費」は予算に対し、85万円程度余る見込み。
- 2)「企画・運営委員会」は、現在のところ執行額はないが、3月開催予定の「教育のあり方に関する協議会」で発生する予定の謝金分を見込んでいる。
- 3)「学生教育部会」は、部会全体の予算に対して15万円程度残る見込み。進学ガイダンスセミナー事業では10万円程度予算超過したが、募集開始後3週間経過時点で申し込みが20人程度しかなかったため、部会長、委員長とも相談の上、急遽各大学の進学ガイダンスセミナー運営委員各位に市内の高校への直接訪問を依頼し、持参するためのチラシを追加印刷したこと、広告を打ったことによるものである。その効果かどうかは不明ながら、一昨年並みの参加者数となった。また、インターンシップ推進事業では、これまでの郵送での文書のやり取りをメールでのやり取りに切り替え、システムを導入し、システム上でのやり取りが可能となったことにより20万円程度の執行残が出る予定である。
- 4)「国際交流部会」は、10万円程度の残が出る見込み。

5)「地域創造部会」については、今年度も環境整備活動に関しては人数を制限した上で二の丸広場にて行い、清掃用具も熊本大学より多数借用したため、見込んだ額より余ったものである。「男女共同参画推進事業」「障がい学生支援連携事業」は、いずれもオンラインでの開催を想定しており、当初見込んでいた旅費交通費が不要になる予定で、その分の執行残が出る見込みである。

6)最後になるが、この見込みのとおりで推移したとなると、140万～150万円程度執行残が出る予定。オンラインでできるもの、オンラインの方が効率的、効果的なものについては引き続きオンラインで実施していく。来年度以降も最適な方法を部会等で検討いただきながら各事業を実施していきたい。

第3号報告 大学コンソーシアム熊本の活動に関するアンケート結果について

事務局長から、資料7に基づき、正会員、賛助会員、協賛会員を対象として昨年11月から12月に初めて実施したアンケートの集計結果について報告があった。集計結果の概要は以下のとおり。

- ・「大学コンソーシアム熊本の課題と思われるもの」について、正会員から数多くみられた回答は「産業界等とのネットワーク確立」および「地域（市民）への認知」
- ・「大学コンソーシアム熊本に期待する事業・実施してほしい事業等」についての最多の回答は「産業界との連携」であった。賛助／協賛会員の回答においても、正会員同様に「産業界等とのネットワーク確立」と「地域（市民）への認知」が課題として最も多い回答であり、「産業界との交流・連携」が期待する事業・実施してほしい事業等として最多の回答となり、正会員と賛助／協賛会員の意見はほぼ一致している。
- ・正会員からは、相互に教育・研究について協力しあえるところは協力して進めていく体制は必要である、地域の産業界の交流や連携は今以上に深めていく必要があるのではないか、一般市民、産業界との積極的な交流を望む、教職員を主体とする交流促進、積極的に自治体との連携を推進する必要がある、事務局体制の強化を図る必要、といった意見、賛助／協賛会員からは、しっかりとした組織として確実なミッション・ビジョンを立ててほしい、極めて重要な組織と認識している、より積極的な周知・広報を期待する、県内事業者や産業界と学生の接点を増やすこと、産業界との交流が不可欠、同友会での情報共有が必要、などの意見をいただいている。

【各委員からの意見・質問等】

(意見／理事)

事業報告会は産業界からも参加してもらうべきではないか。コンソの認知度を上げるためにはもっと積極的に広報することが必要ではないか。

(回答／事務局長)

事業報告会についての案内は行っている。広報をより積極的に行っていくこと、事業報告会や講演会への一般の方の参加など、改めて検討する。

第4号報告 その他

議長から、令和4年11月開催の講演会に続く講演会について提案があった。会長校の熊本学園大学で検討した結果、高橋恭平先生（熊本学園大学 社会福祉学部講師、

研究分野：スポーツ科学)を講師として、5月くらいに開催したいと考えている。詳細が決定したところで報告・ご案内をさせていただく。

7 閉 会

以上で議事を終了し、議長は閉会を宣言した。

この議事録が正確であることを証するため、代表理事（会長）及び出席監事は、署名押印する。

令和6年1月29日

一般社団法人大学コンソーシアム熊本第42回理事会

代表理事（会長） 細 江 守 紀

監 事 出 田 敬 三